

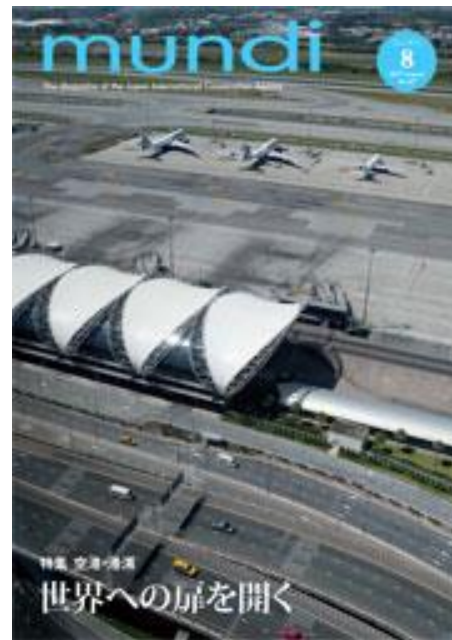


「グローバル型」向け JICA 事業紹介

独立行政法人 国際協力機構 広報室 地球ひろば推進課



JICA = 途上国の課題解決 = 国創り



世界中に広がるJICAの国際協力現場

年間1兆円超の事業規模
96の海外拠点
150の国・地域へ協力

中東・欧州
22ヶ国
1,701億円

東・中央アジア
10ヶ国
752億円

東南アジア
大洋州
24ヶ国
3,269億円

南アジア
8ヶ国
4,742億円

アフリカ
49ヶ国
1,226億円

中南米
33ヶ国
367億円

日本国内に広がるJICA国内拠点

全国のJICA窓口

● JICA国内拠点

北海道から沖縄までの15拠点により、全都道府県をカバー。

● 国際協力推進員 (JICAデスク)

各都道府県に、開発途上国で活動した経験を持つ国際協力推進を配置。「地域のJICA窓口」として、ご相談ください。

JICA国内拠点

検索

- ①JICA地球ひろば
- ②JICA北海道
(札幌/ほっかいどう地球ひろば・帯広)
- ③JICA東北
- ④JICA二本松
- ⑤JICA筑波
- ⑥JICA東京
- ⑦JICA横浜
- ⑧JICA駒ヶ根



- ⑨JICA中部
(なごや地球ひろば)
- ⑩JICA北陸
- ⑪JICA関西
- ⑫JICA中国
- ⑬JICA四国
- ⑭JICA九州
- ⑮JICA沖縄

地球ひろば(3か所)

● 地球ひろば

東京(市ヶ谷)、名古屋、札幌には、見て、聞いて・さわって体験できる展示施設(地球ひろば)があります。修学旅行や社会見学等の団体訪問も受け付けています。



JICAが「グローバル型」に提供できること

JICAは、途上国のニーズと
日本国内の地域リソースとつなぐ架け橋



● 開発教育支援事業

● 研修事業

● 中小企業海外展開支援事業

● ボランティア事業

● 草の根技術協力事業

【事例紹介】

① 自治体との連携

⇒ 島根県海士町、横浜市、兵庫県/神戸市、
宮城県東松島市、北九州市等と連携協定

② 教育委員会との連携

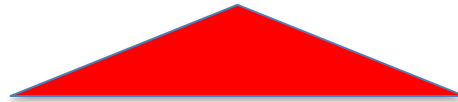
⇒ 埼玉県、神戸市、浦添市と連携協定

⇒ 21都道府県と連携しての研修実績（2018年度は
7,681名の教員が参加）

② 高等学校との連携

⇒ 多数のSGHとの連携実績（SGH運営委員、途上国
スタディツアー+授業、国際協力出前講座等）

探究活動の展開



①

複眼的なモノの見方

②

常識を問い直す

- これまで50年以上に亘って実施し、3,200人以上が参加。
- 約100名が14コースに参加（本年度）。

【一般コース】

- 国際協力の現場、途上国の現状と課題を視察し、授業実践案を作成し、授業実践。

【教育行政コース】

- 教育委員会の指導主事や文部科学省の職員等が途上国を訪問。帰国後は国際理解教育を推進。



- 旅行等では行けない**途上国の現場**を実体験できる
- **自分の目**で見たことを**自分の言葉**で語れる
- **参加者間のつながり・ネットワーク**ができる 等

【参考】 教師海外研修【一般コース】の流れ

事前研修

学習指導案
の作成

学習指導案
のブラッシュ
アップ

海外研修

事後研修①

授業実践

事後研修②

次年度以降

実践報告会

セミナー参加

地域での国際理解教育の推進

【参考】教師海外研修【一般コース】の訪問先 アジア・大洋州、アフリカ、中南米等



タンザニアの学校授業視察
現地教員との意見交換



ブラジル国立アマゾン研究所
視察（アマゾン川の生態系）



サモア
青年海外協力隊現場視察

●視察先：

JICAの各種プロジェクトや青年海外協力隊員の活動現場、国際NGO/
国際機関の活動、日系企業の活動、途上国の教育現場（学校訪問）、
現地の生活状況、現地の人たちとの交流等

●授業実践事例・学習指導案：JICA地球ひろばHP

https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/case/high_school.html

【参考】JICA国内拠点リスト

名称（通称）	所在地	主たる分担地域
JICA北海道（札幌）	北海道札幌市	北海道
JICA北海道（帯広）	北海道帯広市	
JICA筑波	茨城県つくば市	茨城県、栃木県
JICA東京	東京都渋谷区	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、長野県
JICA横浜	神奈川県横浜市	神奈川県、山梨県
JICA中部	愛知県名古屋市	岐阜県、愛知県、三重県、静岡県
JICA関西	兵庫県神戸市	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
JICA中国	広島県東広島市	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
JICA九州	福岡県北九州市	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
JICA沖縄	沖縄県浦添市	沖縄県
JICA東北	宮城県仙台市	福島県、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県
JICA北陸	石川県金沢市	富山県、石川県、福井県
JICA四国	香川県高松市	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
JICA駒ヶ根 （青年海外協力隊訓練所）	長野県駒ヶ根市	長野県
JICA二本松 （青年海外協力隊訓練所）	福島県二本松市	福島県

草の根技術協力事業

日本の教育がブラジルの教育の質向上
埼玉県教育の国際化

事業概要

参加者: 埼玉県

埼玉県教育局・埼玉県内小中高

相手国: ブラジル

LFC (ブラジルNGO) × LFCが運営するUPI

LFC=NGO団体、ブラジル全土で社会教育活動を展開

UPI=LFCが運営する貧困層の児童向け学校

協力内容: UPI教員を埼玉県小中高へ招聘。

UPI教員の為に指導マニュアル作成。

埼玉県の教員がブラジルの施設を訪問し、

継続して日本の教育技術を伝える。

埼玉県の背景・取り組み



- 県内で増加する外国人生徒のために教育行政や教育機関の国際化を目指す。
- 国際化社会に対応できる教員・生徒の育成に力を入れる。
- 日本で常識とされている教育が途上国では常識ではなく、教育の質を向上させる。

ブラジルの課題と成果

課題 子供たちの基礎学力・職業訓練が不十分
取り組み 指導マニュアルや埼玉県の学校訪問を通して日本の教育現場について学び、ブラジルで活かす。

課題 犯罪の多さ・親の教育への無関心
取り組み 埼玉県の道徳教材を施設の親、生徒に提供したところ、親が子供の教育・生活に関心を示し、家庭環境の向上が犯罪減少につながる。

成果

貧困層児童の教育水準向上への一翼を担う

埼玉県への波及効果



埼玉県の教育の国際化

・埼玉県教育局(教育委員会)は変化の激しい社会や国際化に対応できる人材、主体的に生きていく人材を育成するため、グローバルリーダーの育成や国際理解教育の推進に取り組んでいる。その中で本事業に参加した教育関係者の国際協力に対する意識の変化が生徒や学校全体のグローバル化につながっている。

【参考】 島根県海士町との連携

【作成者】島根県(海士町)、外務省、(独)国際協力機構

(独)国際協力機構の島根県への地方移転に関する年次プラン

- 開発途上国人材向けの技術研修または青年研修について、島根県海士町を実施拠点として、平成28年度以降、その一部を実施する。同町の地域振興・観光・教育に関する取り組みを生かした研修を海士町及びJICAが連携して企画し、6次産業化の取り組み、地域特産物の加工現場や、観光・地域教育に関する活動現場等、特徴のある内容を実施する。(政府関係機関移転基本方針(平成28年3月22日まち・ひと・しごと創生本部決定)抜粋)

これまでの
取組内容

- 地域観光マーケティング研修の実施。**
(アフリカ・中東・太平洋島嶼から行政官等が9名参加)
- 初等中等理科教育研修の実施。**
(アフリカから行政官等の教育関係者が12名参加)
- JICA開発途上国の研修ニーズ調査に海士町関係者参画。**
(ブータンにおける地域振興等の研修ニーズを調査)



H29年度の取組

- 島根県海士町において、地域振興等をテーマとした質の高い研修の企画及び実施。
- 平成28年度の実績と併せて、開発途上国の行政官を対象とした地域振興等をテーマとした研修の**企画・立案に関する知見効果**を蓄積。

H30年度以降の取組

- 平成32年度まで、島根県海士町において、地域振興等をテーマとした質の高い研修の企画及び実施。
- 平成32年度に、これまでの研修の実績を踏まえ、JICAと島根県(海士町)において、地域振興等をテーマとした研修の課題及び成果等を検証する会合を開催。
- 平成33年度は、島根県海士町において蓄積された研修の企画及び実施に係る知見等を、平成32年度に実施予定の課題及び成果等の検証結果を踏まえて、地域振興等をテーマとした研修に活用。

目指す
将来像

- 地域振興等をテーマとした質の高い研修が実施されることで、開発途上国の地方創生に寄与。
- 島根県海士町における地方創生をテーマとした研修を通して、「学びの島」としてのブランド力を高め、世界中から人が学びに集まる流れを創出するとともに、離島・中山間地域が持つ『ないものはない』の価値観を世界に発信。

- これまで50年以上に亘って実施し、3,200人以上が参加。
- 約100名が14コースに参加（本年度）。

【一般コース】

- 国際協力の現場、途上国の現状と課題を視察し、授業実践案を作成し、授業実践。

【教育行政コース】

- 教育委員会の指導主事や文部科学省の職員等が途上国を訪問。帰国後は国際理解教育を推進。



- 旅行等では行けない**途上国の現場**を実体験できる
- **自分の目**で見たことを**自分の言葉**で語れる
- **参加者間のつながり・ネットワーク**ができる 等

持続可能な社会の
創り手の育成

主体的・対話的で
深い学び

後半研修：1泊2日（2月頃）

授業報告・共有



- ・公開セミナー
- ・学習指導案ブラッシュアップ
- ・各地域の学校内外教育関係者への共有・理解推進・ネットワーク化

授業実践

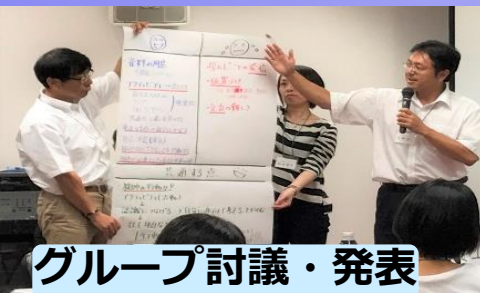


学習指導案づくり



- ・学習指導案づくり
- ・日本国際理解教育学会からの助言
- ・授業実践・公開授業

前半研修：1泊2日（8月頃）



グループ討議・発表



JICA各種教材・指導要領等紹介

- ・主テーマ「SDGs、難民、国際協力、多文化共生など」に関する専門家・教員講話
- ・授業素材検討
- ・グループ討議・発表

【参考】 JICAの学校教育向けプログラム

- 国際協力出前講座
(青年海外協力隊経験者、外国人研修員など)
 - JICA施設(地球ひろば等)訪問
 - 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
- 児童・生徒向け
- 教師海外研修(教育行政官含む)
 - 開発教育指導者研修
 - 開発教育／国際理解教育の教材の提供
- 教員向け

【参考】授業で使える教材・資料



JICA地球ひろば



SDGs教材まとめ



「先生のお役立ちサイト」での情報提供

JICA地球ひろばのHPに教員向けサイトを開設

【参考】 JICAの国際協力①

技術協力

人を通じた協力

技術やノウハウの
伝授など

人材育成
制度構築
などのために

専門家派遣と
研修員受入れ
などを行う

有償資金協力（円借款/海外投融資）

大規模な経済インフラ 整備や制度改革

道路、橋、地下鉄、発電所、
上下水道設備 など

一定の所得水準
以上の途上国
を対象に

長期返済
低金利の条件貸
付

無償資金協力

基礎インフラの整備 機材の供与

学校、病院、井戸、道路、医
療機材、教育機材 など

所得水準が
低い途上国
を対象に

返済義務
課さずに供与

市民参加協力

国際協力のすそ野を広げる

国内における開発教育支援事業
海外協力隊（ボランティア）派遣

開発教育支援事業

国際緊急援助隊

自然災害等への対応

レスキュー・医療チームの派遣、支援物資の供与

ご参考：

JICAホームページ：<https://www.jica.go.jp/>

JICA年次報告書：<https://www.jica.go.jp/about/report/2017/index.html>